

## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

|                                      |   |  |
|--------------------------------------|---|--|
| 申請区分                                 | 地域連携DMO   |  |
| 日本版DMO候補法人の名称                        | 一般社団法人 千歳観光連盟   |  |
| マーケティング・マネジメント対象とする区域                | 区域を構成する地方公共団体名<br>北海道 千歳市、恵庭市、苫小牧市、長沼町、由仁町、安平町          |  |
| 所在地                                  | 北海道千歳市美々 新千歳空港内   |  |
| 設立時期                                 | 昭和 45 年 7 月   |  |
| 職員数                                  | 38 人  |  |
| 代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）   | (氏名)<br>瀧澤 順久<br>(出身組織名)<br>(一社)千歳観光連盟<br>会長            | (一社)千歳観光連盟の会長、新千歳空港周辺エリアの広域観光団体である北海道中央南部観光交流会の会長も務め、道内初の地域限定旅行業登録や広域観光商品開発など様々な取組で成果を挙げている。 |
| 各部門<br>観光地域づくりブランディングの責任者（専門人材）      | (氏名)<br>越塚 宗孝<br>(出身組織名)<br>(一社)千歳観光連盟<br>理事            | (一社)千歳観光連盟の理事、札幌国際大学学長として産学官連携取り組みを多数手がけ、学術的見地から、観光地域づくりのブランディング役を担っている。                     |
| 各部門<br>各種データの分析・収集等マーケティングの責任者（専門人材） | (氏名)<br>榊原 潤「専従」<br>(出身組織名)<br>(一社)千歳観光連盟<br>専務理事       | (一社)千歳観光連盟の専務理事、北海道中央南部観光交流会の副会長も務め、広域的な観光地域マーケティング役を担っている。                                  |
| 各部門<br>経営分析・財務の責任者（専門人員）             | (氏名)<br>鶴岡 稔久「専従」<br>(出身組織名)<br>(一社)千歳観光連盟<br>常務理事・事務局長 | 組織内間接部門として経営分析・財務管理を中心に担当する。   |
| 各部門<br>人材育成の責任者（専門人員）                | (氏名)<br>森 雅人<br>(出身組織名)<br>札幌大谷大学<br>地域連携センター長・教授       | コミュニティをテーマに都市、福祉、環境、観光、公共政策など多面的な視点から観光まちづくりを提言。地域連携センター長として地域人材育成に積極的に取り組んでいる。              |
| 各部門<br>プロモーションの責任者（専門人材）             | (氏名)<br>小島 英人「専従」<br>(出身組織名)<br>(一社)千歳観光連盟<br>事務局次長     | 国内外における観光宣伝プロモーション・商談会を中心に担当する。  |
| 各部門<br>広域連携窓口の責任者（専門人材）              | (氏名)<br>佐々木 智秀「専従」<br>(出身組織名)<br>(一社)千歳観光連盟<br>経営企画本部長  | 広域観光団体「北海道中央南部観光交流会」の実務を中心に担当する。   |

(別添) 様式 1

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>各部門<br/>旅行商品の造成・販売の<br/>責任者(専門人材)</p>            | <p>(氏名)<br/>大宮 裕輔「専従」<br/>(出身組織名)<br/>(一社)千歳観光連盟<br/>観光推進グループ・<br/>旅行グループ<br/>プロジェクトマネージャー</p>   | <p>国内外向け旅行商品の企画造成・販売促進を中心に<br/>担当する。</p>                |
| <p>各部門<br/>地域ブランド創出・物<br/>産販促の責任者(専門人<br/>材)</p>    | <p>(氏名)<br/>鈴木 祐紀「専従」<br/>(一社)千歳観光連盟<br/>物販グループ<br/>マネージャー</p>   | <p>国内外向け地域物産品の販促・流通を中心に担当す<br/>る。</p>                   |
| <p>各部門<br/>地域情報発信、インフ<br/>ォメーションの責任者<br/>(専門人材)</p> | <p>(氏名)<br/>佐々木 香澄「専従」<br/>(出身組織名)<br/>(一社)千歳観光連盟<br/>観光推進グループ<br/>チーフ</p>   | <p>千歳駅観光案内所(外国人観光案内所カテゴリー2)<br/>のインフォメーションを中心に担当する。</p> |
| <p>連携する地方公共団体<br/>の担当部署名及び役割</p>                    | <p>千歳市観光スポーツ部<br/>恵庭市経済部<br/>苫小牧市産業経済部<br/>長沼町産業振興課<br/>由仁町産業振興課<br/>安平町まちづくり推進課<br/>(当該地域観光協会のバックアップ)</p>   |   |
| <p>連携する事業者名及び<br/>役割</p>                            | <p>北海道中央南部観光交流会(広域連携団体)<br/>(一社)恵庭観光協会(広域事業連携)<br/>(一社)苫小牧観光協会(広域事業連携)<br/>長沼町観光協会(広域事業連携)<br/>(一社)由仁町観光協会(広域事業連携)<br/>(一社)あびら観光協会(広域事業連携)<br/>札幌国際大学(産学事業連携)<br/>札幌大谷大学(産学事業連携)<br/>千歳科学技術大学(産学事業連携)<br/>千歳商工会議所(他業種連携)<br/>支笏湖温泉旅館組合(旅行商品開発)<br/>日本航空(旅行商品開発)<br/>全日本空輸(旅行商品開発)<br/>JTB 国内旅行企画(旅行商品開発)<br/>JTB 北海道(旅行商品開発)<br/>千歳地区ハイヤー事業協同組合(旅行商品開発、アクセス改善)<br/>アミューズメント北海道(旅行商品開発、アクセス改善)<br/>TIC東京(森トラスト・ホテルズ&amp;リゾート)(インフォメーション連携)<br/>千歳観光連盟会員企業(旅行商品開発、物産販促、アクセス改善)<br/>海外旅行会社(旅行商品造成、物産販促)</p> |   |

(別添) 様式 1

|  |  |
|--|--|
| <p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p> | <p>(該当する要件)<br/>①②③<br/>(概要)<br/>① 宿泊、交通、飲食、体験、農業、金融など230企業が当連盟の法人会員として加盟し、当該法人の事業活動に参画しています。日常的な業務は事務局が窓口となり実務者レベルの調整を継続的に図っています。<br/>② 具体的な事業取り組みを協議するため、組織内に千歳プロモーションボードを設置し、設定区域関係団体、多業種事業者相互の意見・情報交換の機会を創出します。<br/>③ 事業取り組みに関する広域的な連絡調整を行うため、3市3町の観光協会で構成する広域観光団体「北海道中央南部観光交流会」の事務局を当該法人が担い、関係団体との合意形成を図っています。日常的な業務は事務局が窓口となり実務者レベルの調整を継続的に図っています。また、加盟観光協会を通じ各地行政・民間事業者との合意形成を図っています。</p>   |
| <p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>   | <p>体験や宿泊、交通事業者など観光関連事業者他飲食、一般市民を対象とし、当エリアにおける個性を生かした滞在・体験型観光の推進に向けた意識共有と国際観光の理解を深めるべく自主事業企画や産学連携事業として研修会等を開催しております。</p>  |
| <p>法人のこれまでの活動実績</p>                      | <p>(活動の概要)<br/>1970(昭和45)年 社団法人千歳観光連盟創立。<br/>1972(昭和47)年 千歳空港有料駐車場の営業開始。<br/>1992(平成7)年 新千歳空港駐車場開設。<br/>1998(平成10)年 新千歳空港周辺エリアの広域観光団体「北海道中央南部観光交流会」発足。事務局機能担当。<br/>2004(平成16)年 JR千歳駅前商業ビル内に千歳駅観光案内所を開設。<br/>2010(平成22)年 JR千歳駅前商業ビル内に千歳観光物産サテライトミルを開設し観光案内を移設。観光客受入体制の整備と地域産品の販促普及を実施(JNTO認定の外国人観光案内所カテゴリーII登録)。<br/>2011(平成23)年 一般社団法人へ移行。<br/>2013(平成25)年 地域限定旅行業登録。<br/>2015(平成27)年 第三種旅行業に登録変更。<br/>2016(平成28)年 第二種旅行業に登録変更。<br/>2017(平成29)年 日本版DMO候補法人に登録。<br/>当連盟は1949(昭和24)年に発足した千歳観光協会を前身に、地域経済振興の開発進展、国際親善に資するため1970(昭和45)年に北海道運輸局の許可法人として社団法人化し、時代の変化や形態に即応した観光振興事業を展開してまいりました。1972(昭和47)年に空港駐車場の営業を開始し、航空振興、観光・地域振興に係る各種事業に努めております。1998(平成10)年には新千歳空港周辺エリアの広域連携を図るため、北海道中央南部観光交流会を発足し、事務局機能を担っており、国内外マスメディアへの情報発信・取材招聘、国内外旅行会社への旅行商品提案・視察招聘等、広域ゾーンとしての観光振興取り組みを展開しております。<br/>近年は国策ビジットジャパン事業に連動し、会員企業、行政機関と連携した誘致プロモーションや北海道運輸局との地方連携事業取り組みを推進すると共に、旅行業登録による着地型商品の企画販売や地域産品の販促普及を通じて、地域経済振興に努めております。</p> |

(別添) 様式 1

|      |   |
|------|---|
|      | <p>(定量的な評価)</p> <p>千歳市の平成28年度観光客入込数は約51.8万人(対前年度比101.7%)、宿泊延べ人数は約30万6千人(対前年度比110.6%)、内外国人宿泊客は中国・タイ・マレーシアなどを中心に約1.3万人(対前年度比131.3%)となっている。</p> <p>地域連携区域の平成28年度観光客入込数は約97.6万人、宿泊延べ人数は約54万6千人、内外国人宿泊客は中国・タイ・マレーシアなどを中心に約16万9千人となっている。</p>        |
| 実施体制 | <p>(実施体制の概要)</p> <p>広域観光団体「北海道中央南部観光交流会」の事務局である(一社)千歳観光連盟が母体となり、地域連携区域の恵庭市、苫小牧市、長沼町、由仁町、安平町の各観光協会と情報共有及び調整を行うと共に、各観光協会を通じ行政との連携を図る。</p> <p>行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者、産学連携先の大学など多様な関係者が参画し、官民が密接に連携した運営を実施する。</p> <p>(実施体制図)</p> <p>別紙 1</p> |

## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

区域は新千歳空港周辺地域。

H10年に区域を構成する観光協会が広域連携団体を設置。

顧客視点に立ち、区域観光情報の収集・発信、周遊ルートの設定、受入環境整備、旅行商品の企画など連携した取組を実施。空港を核とした交通結節点として人・物交流往来が盛んな特性と、北海道ならではの豊かな自然環境などの魅力が凝縮する周辺環境を活かした取り組みが可能であり、当該市町が連携した区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

国内外ともに団体旅行よりも小グループや個人旅行の来訪が多い。

国内外からの教育旅行団体ニーズが増加している。

(別添) 様式 1

インバウンド旅行者の宿泊は東アジア、東南アジアが多数。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

支笏洞爺国立公園、温泉地、酪農業体験、産業見学、農村風景、渓谷、カヌー、ラフティング、ダイビング、フィッシング、乗馬、サイクイング、登山、ゴルフ、キャンプ、マラソン、ゲレンデスキー、クロスカントリースキー、スノーパーク、空港、港湾、アウトレットモール、道の駅、千歳・支笏湖水濤まつり、インディアン水車まつり、航空自衛隊千歳基地航空祭、

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

区域内の宿泊施設：施設数 40 軒、客室数 3,387 部屋。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

航空：新千歳空港国内空路 27 路線、海外 17 路線（H29 年 10 月現在）

鉄道：JR 新千歳空港駅から区域内各地へ移動可能

車：道央道、道東道で区域内各地へ移動可能

【外国人観光客への対応】

○平成 28 年度の外国人宿泊延べ人数は設定区域全体で 169,514 人。上位から中国、マレーシア、香港、台湾、韓国、タイ、シンガポールの順になっています。

○設定区域内には JNTO 認定外国人観光案内所が 3 箇所あり、外国人旅行者への情報提供を行っています（案内所名：千歳駅観光案内所、支笏湖観光案内所、千歳アウトレットモール・レラトラベルサロン）。

○千歳駅観光案内所では専従職員による英語・タイ語の対面案内に対応している他、来訪者向け無料端末 (IPAD) の設置及び公衆無線 LAN (無料 WIFI) サービスを実施しています。

○千歳駅観光案内所を運営する千歳観光連盟は、TIC 東京に加盟し、TIC 東京へ訪れる外国人旅行者へパンフレット等による北海道観光情報の提供に加え、スカイプによる双方向のインフォメーション連携を図ります。

○WEB サイトや観光パンフレット等の情報発信ツールは、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語の多言語対応を行っています。

○第 2 種旅行業登録により訪日教育旅行、マラソン参加ツアー、MICE 関連ツアー等のインバウンド旅行者を対象とした、受注型企画旅行、手配旅行を行っています。

○FIT 旅行者向けの特典クーポンブック (仮称：道南ゴールデンクーポン) の企画発行に取り組んでいます。

○地域産品販路拡大の取り組みとして、インバウンド旅行者向け WEB 通販サイトの運営、お土産宅配サービスを行っています。

○MICE 関連ツアー、FIT 旅行、一般団体ツアーとともに、空港到着時に歓迎幕等でお出迎えする北海道ウェルカムサポートを行っています。

○海外旅行会社等へのセールスプロモーションや海外メディア取材招聘、海外旅行会社視察招聘事業を企画し、設定区域内観光関係者と共にインバウンド旅行者の誘客促進を行っています。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ                         | 収集の目的                          | 収集方法                                  |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
| WEBサイトのアクセス状況                   | 地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。    | 千歳観光連盟 WEB サイト及びオリジナル旅行クーポン専用サイトから収集。 |
| 日帰りバスツアー参加者アンケート調査 (設定区域全域を対象)  | 地域資源の魅力、満足度の把握と次回催行に向けた課題抽出。   | 産学連携事業として実施。                          |
| 旅行クーポンを活用した行動履歴調査 (設定区域を含む道南から道 | 旅行者の行動履歴や観光ニーズの把握と次回実施に向けた課題抽出 | クーポン発行・清算業務を通じた自主事業として実施。             |

(別添) 様式 1

|                               |   |                             |
|-------------------------------|---|-----------------------------|
| 央の広域エリアを対象)                   |   |                             |
| 観光案内所来訪者統計調査                  | 国・地域・季節・目的別等の問合せ内容の集計と観光ニーズの把握。               | 観光案内所機能を活用した自主事業として実施。      |
| 国内線・国際線航空乗降客数                 | 航空路線利用者数推移の把握。                                | 航空行政機関からの情報収集。              |
| 来訪者数、宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率 | 地域の来訪者・宿泊数推移、経済波及効果の把握・分析とデータに基づく観光振興戦略を練るため。 | 関係事業者へのアンケート調査を行政機関と連携して実施。 |

#### 4. 戦略

##### (1) 地域の強みと弱み

|      | 好影響  | 悪影響  |
|------|--|--|
| 内部環境 | <b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新千歳空港</li> <li>・集客力のあるイベント</li> <li>・アクティビティの集積</li> <li>・農村観光の集積</li> </ul> | <b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最優価値を有する観光資源の欠如</li> <li>・宿泊機能の不足</li> </ul>                |
| 外部環境 | <b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の量的拡大</li> <li>・新千歳空港の拡充</li> <li>・北海道新幹線の開業</li> </ul>              | <b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り観光客の多さ</li> <li>・認知度の低さ</li> <li>・プレミアムブランド商品の少なさ</li> </ul> |

##### (2) ターゲット

|  |
|--|
| ○第1ターゲット層<br>台湾・香港の個人旅行者   |
| ○選定の理由<br>新千歳空港との直行便就航先としての大型マーケットであり、個人旅行とリピーター率の高まりを受け、当該設定区間における新たな旅行商品企画を仕掛け、更なる誘客を図るため。   |
| ○取組方針<br>地域行政と民間事業者が一体となり、現地市場に向けた継続したセールスプロモーション活動の実施とレンタカーやタクシー、旅行クーポン利用による個人旅行商品など、具体的な着地型旅行商品の企画造成と販売提案を実施する。<br>農産物、海産物、菓子、雑貨など、道産品をはじめ優れた日本製品のWEB通販を通じた地域経済の活性化と発地側の志向調査分析を実施する。 |
| ○第2ターゲット層<br>タイ・マレーシア・シンガポールの団体・個人旅行者  |
| ○選定の理由<br>近年新千歳空港と直行便が就航した市場として、今後更なる旅行者増加が見込まれるため。  |
| ○取組方針<br>地域行政と民間事業者が一体となり、現地市場に向けた継続したセールスプロモーション活動の実施とレンタカーやタクシー、旅行クーポン利用による個人旅行商品など、具体的な着地型旅行商品の企画造成と販売提案を実施する。  |
| ○第3ターゲット層<br>MICEによる旅行者  |

(別添) 様式 1

|   |
|---|
| <p>○選定の理由<br/>マラソン等スポーツ大会や酪農業等の地域産業視察に対する海外からのニーズが高まっており、地域特性を生かした更なる MICE 旅行者誘致と受入体制の充実を図るため。</p> <p>○取組方針<br/>台湾、中国、マレーシアなど発地側の訪問団体やグループとのワンストップ窓口機能を担い、MICE 旅行目的・要望などのニーズ把握と北海道側の受入団体・施設への調整・手配、アフターツアーの企画手配など一括した受入体制を構築する。</p>               |
| <p>○第 4 ターゲット層<br/>国内外の教育旅行</p>   |
| <p>○選定の理由<br/>酪農業、アウトドア、産業観光等を組み込んだ国内外からの教育旅行へのニーズが高まっており、将来のリピーターと成りうる若年層の誘致と地域間交流促進を図るため。</p> <p>○取組方針<br/>ファームビジット、ファームステイ、カヌー、ラフティング、菓子工場見学など地域事業者と連携した教育旅行受入メニューの企画開発と、首都圏・関西圏をはじめとする国内市場、台湾・マレーシアをはじめとする海外市場に向けた継続的なセールスプロモーション活動を実施する。</p> |

(3) コンセプト

|             |   |
|-------------|---|
| ① コンセプト     | 北国の四季が誘う「天空街道」  |
| ① コンセプトの考え方 | 設定区域の観光素材を結びつけるキーワードを「道」と設定し、北海道ならではの四季それぞれの魅力や空、大地、水、自然景観等点在する地域魅力を結び、更に空港、港湾、高速道路等交通結節点としての利便性を生かした、新たな広域観光ルートの魅力創出を図る。 |

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目                              | 概要   |
|---------------------------------|--|
| 戦略の多様な関係者との共有                   | 地域連携 DMO を中心に、地域の観光団体等を集めた戦略協議の場を設け情報の共有化を図るとともに、地域観光団体加盟の関連事業者や地域住民とのコミュニケーションの機会を創出し、各種情報の共有を図る。(2ヶ月に1回程度) |
| 観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや | ○マーケティング調査分析等を通じた宿泊、飲食、交通、アクティビティ関連施設等の品質向上を図るための PDCA を行う。<br>○自主事業による旅行商品販売を通じた旅行者ニーズ・評価                   |

(別添) 様式 1

|                  |   |
|------------------|---|
| 体制の構築            | <p>を収集分析し、旅行商品メニューの品質向上を図る。<br/>         ○優れた地域産品を認証する土産品推奨制度を実施する。</p>   |
| 一元的な情報発信・プロモーション | <p>○設定区域をはじめ北海道全域情報を取り扱う観光案内所機能を活用し、旅行者への広域的な情報発信・受入のワンストップ窓口を担う。<br/>         ○第2種旅行業を活用し、コンセプトに基づいた着地型旅行商品の企画造成・販売を実施する。<br/>         ○地域関連事業者と連携しインバウンド旅行誘致に向けたランドオペレート業務を担う。<br/>         ○地域産品の販促に向けたアンテナショップの運営、WEB 通販サイトの運用等を図る。<br/>         ○地域関連事業者と連携し国内外セールスプロモーションを展開すると共に、ワンストップ窓口としてセールス代行業務を実施する。</p> |

**6. KPI (実績・目標)**

(1) 必須KPI

| 指標項目                | 単位 | H27 年度<br>(実績)       | H28 年度<br>(実績)       | H29 年度<br>(目標)       | H30 年度<br>(目標)       | H31 年度<br>(目標)       | H32 年度<br>(目標)       |
|---------------------|----|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| ●旅行消費額<br>( )内は外国人  | 円  | 12,571<br>(61,341)   | 17,006<br>(未実施)      | 17,500<br>(62,500)   | 18,000<br>(63,000)   | 18,500<br>(63,500)   | 19,000<br>(64,000)   |
| ●延べ宿泊者数<br>( )内は外国人 | 人  | 557,200<br>(138,052) | 546,000<br>(169,514) | 573,300<br>(177,990) | 601,965<br>(186,889) | 632,063<br>(196,234) | 663,666<br>(206,045) |
| ●来訪者満足度<br>( )内は外国人 | %  | 73.3<br>(89.2)       | 77.4<br>(未実施)        | 78.0<br>(90.5)       | 78.5<br>(91)         | 79.0<br>(91.5)       | 79.5<br>(92)         |
| ●リピーター率<br>( )内は外国人 | %  | 74.8<br>(62.7)       | 64.7<br>(未実施)        | 65.0<br>(63.5)       | 65.5<br>(64)         | 66.0<br>(64.5)       | 66.5<br>(65)         |

※旅行消費額:平成 28 年度 WEB データから千歳市の該当数値を抽出

※述べ宿泊者数:平成 28 年度北海道観光入込客調査報告書より(設定区域全体数抜粋)

※来訪者満足度:平成 28 年度 WEB データから千歳市の該当数値を抽出

※リピーター率:平成 28 年度 WEB データから千歳市の該当数値を抽出

※上記の各 KPI 数値は、設定区域(3 市 3 町)を対象とした目標数値です。



(別添) 様式 1

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**

対象区域全体の目標値設定にあたっては、これまで千歳市以外の区域では各種実態データを持ち合わせていない現状にあると共に、区域内における国内外宿泊・日帰り入り込みの多数を占める千歳市の実態を基礎データとして全体目標に設定することが、今後の各種連携事業の企画展開と実態調査による調査分析に有効であることを関係者間で合意形成し、設定に至っている。

**【設定にあたっての考え方】**

東京オリンピック・パラリンピック開催及び道内空港民間委託開始予定である2020年の国内動向をプラス要因に、2年後の2022年において、国内外からの観光誘客促進を見据えて、各目標数値を設定した。項目毎の考え方は下記の通り。

●旅行消費額

2022年の旅行消費額を20,000円、外国人は65,000円まで引き上げる目標とし、各年次における数値を設定。

●延べ宿泊者数

2022年の述べ宿泊者数を国内外合わせて100万人(国内75万人、外国人25万人)まで引き上げる目標とし、各年次における数値を設定。

●来訪者満足度

毎年0.5ポイントの向上を目標に各年次における数値を設定。国内外ともに90ポイント以上を長期着地目標として向上に努める。

●リピーター率

毎年0.5ポイントの向上を目標に各年次における数値を設定。国内外ともに70ポイント以上を長期着地目標として向上に努める。

(2) その他の目標

| 指標項目                        | 単位 | H27年度        | H28年度        | H29年度          | H30年度          | H31年度          | H32年度            |
|-----------------------------|----|--------------|--------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| ●教育旅行入込数<br>( )内は海外         | 人  | 690<br>(26)  | 542<br>(230) | 750<br>(240)   | 800<br>(250)   | 850<br>(260)   | 900<br>(270)     |
| ●オリジナル旅行クーポン利用者数<br>( )内は海外 | 人  | 1,500<br>(0) | 2,135<br>(0) | 2,500<br>(500) | 3,000<br>(700) | 3,500<br>(900) | 4,000<br>(1,100) |

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

**【検討の経緯】**

当該エリアについては、農業体験を中心に道内外からの教育旅行の受入れを積極的に行っており、今後も当該エリアの重要な観光資源の柱となることから目標数値の設定とした。オリジナル旅行クーポンについては、平成28年度より企画発行し、クーポン引換場所やクーポン参画施設の利用実績等により、当該エリアを含め広域で旅行者の傾向などを把握できるため目標数値の設定とした。

**【設定にあたっての考え方】**

●教育旅行入込数

H32年において900人(海外270人)まで引き上げる目標とし、各年次における数値を設定。教育旅行入込数を収集分析することにより、当該エリアで実施する宿泊、体験など細目毎にデータを集約することが出来、また当該エリアにどの地域から訪問しているかを分析することで誘致プロモーションの戦略に役立てる事ができる。

## (別添) 様式 1

## ●オリジナル旅行クーポン利用者数

H32 年において 4,000 人(海外 1,100 人)まで引き上げる目標とし、各年次における数値を設定。

FIT 向けに企画発行した旅行クーポンの利用者数を集約することで、クーポン利用施設の利用実績や旅行者の嗜好、移動ルートなど多角的に情報を把握することが出来、今後のターゲット市場等の戦略に役立てる事ができる。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

## (1) 収入

| 年度   | 総収入 (円)         | 内訳   |
|------|-----------------|--|
| 27年度 | 190,614,000 (円) | 【国からの補助】 0 (円)<br>【道からの補助金】 0 (円)<br>【市からの補助金】 0 (円)<br>【地方公共団体からの指定管理収入】 0 (円)<br>【民間補助金】 658,000 (円)<br>【会費収入】 6,323,000 (円)<br>【収益事業収入】 117,633,000 (円)<br>【繰入金収入】 66,000,000 (円) |
| 28年度 | 206,054,300 (円) | 【国からの補助】 0 (円)<br>【道からの補助金】 0 (円)<br>【市からの補助金】 0 (円)<br>【地方公共団体からの指定管理収入】 0 (円)<br>【民間企業等からの寄付】 0 (円)<br>【会費収入】 5,958,000 (円)<br>【収益事業収入】 126,096,300 (円)<br>【繰入金収入】 83,000,000 (円)  |
| 29年度 | 312,878,000 (円) | 【国・道・市からの補助】 0 (円)<br>【地方公共団体からの指定管理収入】 0 (円)<br>【民間企業等からの寄付】 0 (円)<br>【会費収入】 5,958,000 (円)<br>【収益事業収入】 163,920,000 (円)<br>【繰入金収入】 14,300,000 (円)                                    |
| 30年度 | 350,708,800 (円) | 【国・道・市からの補助】 0 (円)<br>【地方公共団体からの指定管理収入】 0 (円)<br>【民間企業等からの寄付】 0 (円)<br>【会費収入】 5,958,000 (円)<br>【収益事業収入】 201,750,000 (円)<br>【繰入金収入】 143,000,000 (円)                                   |
| 31年度 | 388,538,000 (円) | 【国・道・市からの補助】 0 (円)<br>【地方公共団体からの指定管理収入】 0 (円)<br>【民間企業等からの寄付】 0 (円)<br>【会費収入】 5,958,000 (円)<br>【収益事業収入】 239,580,000 (円)<br>【繰入金収入】 143,000,000 (円)                                   |
| 32年度 | 426,368,000 (円) | 【国・道・市からの補助】 0 (円)<br>【地方公共団体からの指定管理収入】 0 (円)<br>【民間企業等からの寄付】 0 (円)  |

## (別添) 様式 1

|  |  |          |                 |
|--|--|----------|-----------------|
|  |  | 【会費収入】   | 6,300,000 (円)   |
|  |  | 【収益事業収入】 | 277,410,000 (円) |
|  |  | 【繰入金収入】  | 143,000,000 (円) |

## (2) 支出

| 年度   | 総支出             | 内訳         |                 |
|------|-----------------|------------|-----------------|
| 27年度 | 185,592,000 (円) | 【誘致宣伝費】    | 7,206,000 (円)   |
|      |                 | 【観光案内所運営費】 | 6,134,000 (円)   |
|      |                 | 【広報宣伝費】    | 336,000 (円)     |
|      |                 | 【調査研究費】    | 95,000 (円)      |
|      |                 | 【イベント助成金】  | 1,972,000 (円)   |
|      |                 | 【その他事業費】   | 3,796,000 (円)   |
|      |                 | 【収益事業支出】   | 107,783,000 (円) |
|      |                 | 【管理費】      | 58,270,000 (円)  |
| 28年度 | 204,450,000 (円) | 【旅費交通費】    | 6,010,000 (円)   |
|      |                 | 【外注費】      | 930,000 (円)     |
|      |                 | 【賃料】       | 2,760,000 (円)   |
|      |                 | 【光熱費】      | 1,970,000 (円)   |
|      |                 | 【通信運搬費】    | 800,000 (円)     |
|      |                 | 【消耗品費】     | 880,000 (円)     |
|      |                 | 【備品等賃借料】   | 1,860,000 (円)   |
|      |                 | 【広告宣伝費】    | 2,370,000 (円)   |
|      |                 | 【調査研究費】    | 100,000 (円)     |
|      |                 | 【イベント助成金】  | 1,900,000 (円)   |
|      |                 | 【その他事業費】   | 3,710,000 (円)   |
|      |                 | 【収益事業支出】   | 112,090,000 (円) |
|      |                 | 【管理費】      | 69,160,000 (円)  |
| 29年度 | 239,800,000 (円) | 【旅費交通費】    | 6,010,000 (円)   |
|      |                 | 【外注費】      | 930,000 (円)     |
|      |                 | 【賃料】       | 2,760,000 (円)   |
|      |                 | 【光熱費】      | 1,970,000 (円)   |
|      |                 | 【通信運搬費】    | 800,000 (円)     |
|      |                 | 【消耗品費】     | 880,000 (円)     |
|      |                 | 【備品等賃借料】   | 1,860,000 (円)   |
|      |                 | 【広告宣伝費】    | 2,370,000 (円)   |
|      |                 | 【調査研究費】    | 100,000 (円)     |
|      |                 | 【イベント助成金】  | 1,900,000 (円)   |
|      |                 | 【その他事業費】   | 3,710,000 (円)   |
|      |                 | 【収益事業支出】   | 145,710,000 (円) |
|      |                 | 【管理費】      | 69,160,000 (円)  |
| 30年度 | 276,430,000 (円) | 【旅費交通費】    | 6,010,000 (円)   |
|      |                 | 【外注費】      | 930,000 (円)     |
|      |                 | 【賃料】       | 2,760,000 (円)   |
|      |                 | 【光熱費】      | 1,970,000 (円)   |
|      |                 | 【通信運搬費】    | 800,000 (円)     |
|      |                 | 【消耗品費】     | 880,000 (円)     |
|      |                 | 【備品等賃借料】   | 1,860,000 (円)   |
|      |                 | 【広告宣伝費】    | 2,370,000 (円)   |
|      |                 | 【調査研究費】    | 100,000 (円)     |
|      |                 | 【イベント助成金】  | 1,900,000 (円)   |
|      |                 | 【その他事業費】   | 3,710,000 (円)   |
|      |                 | 【収益事業支出】   | 179,340,000 (円) |

## (別添) 様式 1

|               |                 |                  |                 |
|---------------|-----------------|------------------|-----------------|
|               |                 | <b>【管理費】</b>     | 69,160,000 (円)  |
| <b>3 1 年度</b> | 313,060,000 (円) | <b>【旅費交通費】</b>   | 6,010,000 (円)   |
|               |                 | <b>【外注費】</b>     | 930,000 (円)     |
|               |                 | <b>【賃料】</b>      | 2,760,000 (円)   |
|               |                 | <b>【光熱費】</b>     | 1,970,000 (円)   |
|               |                 | <b>【通信運搬費】</b>   | 800,000 (円)     |
|               |                 | <b>【消耗品費】</b>    | 880,000 (円)     |
|               |                 | <b>【備品等賃借料】</b>  | 1,860,000 (円)   |
|               |                 | <b>【広告宣伝費】</b>   | 2,370,000 (円)   |
|               |                 | <b>【調査研究費】</b>   | 100,000 (円)     |
|               |                 | <b>【イベント助成金】</b> | 1,900,000 (円)   |
|               |                 | <b>【その他事業費】</b>  | 3,710,000 (円)   |
|               |                 | <b>【収益事業支出】</b>  | 212,970,000 (円) |
|               |                 | <b>【管理費】</b>     | 76,800,000 (円)  |
| <b>3 2 年度</b> | 346,680,000 (円) | <b>【旅費交通費】</b>   | 6,010,000 (円)   |
|               |                 | <b>【外注費】</b>     | 930,000 (円)     |
|               |                 | <b>【賃料】</b>      | 2,760,000 (円)   |
|               |                 | <b>【光熱費】</b>     | 1,970,000 (円)   |
|               |                 | <b>【通信運搬費】</b>   | 800,000 (円)     |
|               |                 | <b>【消耗品費】</b>    | 880,000 (円)     |
|               |                 | <b>【備品等賃借料】</b>  | 1,860,000 (円)   |
|               |                 | <b>【広告宣伝費】</b>   | 2,370,000 (円)   |
|               |                 | <b>【調査研究費】</b>   | 100,000 (円)     |
|               |                 | <b>【イベント助成金】</b> | 1,900,000 (円)   |
|               |                 | <b>【その他事業費】</b>  | 3,710,000 (円)   |
|               |                 | <b>【収益事業支出】</b>  | 246,590,000 (円) |
|               |                 | <b>【管理費】</b>     | 76,800,000 (円)  |

## (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- 第2種旅行業による着地型旅行商品の企画・販売を通じた旅行業収入。
- 海外旅行会社とのランドオペレート契約による旅行手配収入。
- 今後自主事業によるレンタカー貸出業務展開を予定。
- MICE 旅行者をはじめとするインバウンド旅行者へのサポート業務収入。
- 観光案内所での旅行者向け各種サポート業務収入。
- 観光宣伝物・広告媒体など出版業務収入。
- 物販小売店舗運営による物販収入。
- 国内外への地域産品販促による物販流通業務収入。
- 事業者向けコンサルティング業務による収入。
- 空港駐車場管理運営による繰入金収入。

## 8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

千歳市、恵庭市、苫小牧市、長沼町、由仁町、安平町は、一般社団法人千歳観光連盟を当該市町における地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人千歳観光連盟とともに申請します。北海道は、一般社団法人千歳観光連盟を当該都道府県における地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人千歳観光連盟とともに申請します。

## 9. 記入担当者連絡先

|            |                             |
|------------|-----------------------------|
| 担当者氏名      | 小島 英人                       |
| 担当部署名 (役職) | 事務局次長                       |
| 所在地        | 北海道千歳市千代田町 7-1789-3         |
| 電話番号 (直通)  | 0123-24-8818                |
| FAX 番号     | 0123-24-8819                |
| E-mail     | h-kjm@1000sai-chitose.or.jp |

## 10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 北海道                             |
| 担当者氏名      | 福井 聡太                           |
| 担当部署名 (役職) | 経済部観光局観光地づくり主事                  |
| 所在地        | 北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目            |
| 電話番号 (内線)  | 011-231-4111 (26-585)           |
| FAX 番号     | 011-232-4120                    |
| E-mail     | fukui.souta@pref.hokkaido.lg.jp |

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 千歳市                                |
| 担当者氏名      | 吉見 章太郎                             |
| 担当部署名 (役職) | 観光スポーツ部観光企画課企画振興係長                 |
| 所在地        | 北海道千歳市東雲町 2 丁目 34 番地               |
| 電話番号 (直通)  | 0123-24-0377                       |
| FAX 番号     | 0123-22-8854                       |
| E-mail     | shotaro.yoshimi@city.chitose.lg.jp |

|            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 恵庭市                                 |
| 担当者氏名      | 小路 弘樹                               |
| 担当部署名 (役職) | 経済部花と緑・観光課課長                        |
| 所在地        | 北海道恵庭市京町 1 番地                       |
| 電話番号 (内線)  | 0123-33-3131 (2521)                 |
| FAX 番号     | 0123-33-3137                        |
| E-mail     | hanatomidori@city.eniwa.hokkaido.jp |

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 都道府県・市町村名  | 苫小牧市                               |
| 担当者氏名      | 安友 哲志                              |
| 担当部署名 (役職) | 産業経済部産業振興室観光振興課課長                  |
| 所在地        | 北海道苫小牧市表町 5 丁目 11 番 5 号            |
| 電話番号 (直通)  | 0144-32-6448                       |
| FAX 番号     | 0144-32-4200                       |
| E-mail     | tm51494@city.tomakomai.hokkaido.jp |

|            |            |
|------------|------------|
| 都道府県・市町村名  | 長沼町        |
| 担当者氏名      | 巻 啓貴       |
| 担当部署名 (役職) | 産業振興課商工観光係 |

(別添) 様式 1

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 所在地      | 北海道夕張郡長沼町中央北1丁目1番1号   |
| 電話番号(内線) | 0123-88-2111 (317)    |
| FAX番号    | 0123-88-0888          |
| E-mail   | h-maki@ad.maoi-net.jp |

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 都道府県・市町村名 | 由仁町                              |
| 担当者氏名     | 若林 貴彦                            |
| 担当部署名(役職) | 産業振興課由仁のもの事業担当主査                 |
| 所在地       | 北海道夕張郡由仁町新光200番地                 |
| 電話番号(直通)  | 0123-83-2114                     |
| FAX番号     | 0123-83-3020                     |
| E-mail    | taka-wakabayashi@town.yuni.lg.jp |

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 都道府県・市町村名 | 安平町                       |
| 担当者氏名     | 横谷 健                      |
| 担当部署名(役職) | まちづくり推進課まちづくり推進グループ主査     |
| 所在地       | 北海道勇払郡安平町早来大町95番地         |
| 電話番号(直通)  | 0145-22-2514              |
| FAX番号     | 0145-22-3006              |
| E-mail    | k.yokoya@town.abira.lg.jp |

オブザーバー

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 機関名       | 北海道運輸局                     |
| 担当者氏名     | 水口 猛                       |
| 担当部署名(役職) | 観光部国際観光課長                  |
| 所在地       | 北海道札幌市中央区大通西10丁目札幌第二合同庁舎   |
| 電話番号(直通)  | 011-290-2723               |
| FAX番号     | 011-290-2703               |
| E-mail    | mizuguchi-t52es@mlit.go.jp |

【区域】北海道 千歳市、恵庭市、苫小牧市、長沼町、由仁町、安平町

【設立時期】昭和45年7月21日

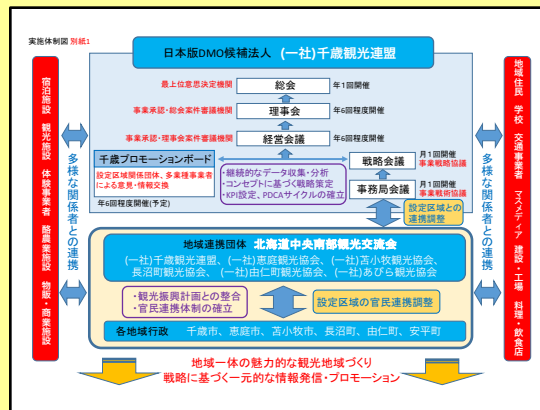
【代表者】会長 瀧澤 順久

【マーケティング責任者】専務理事 榎原 潤

【職員数】38名

【連携する主な事業者】北海道中央南部観光交流会、(一社)恵庭観光協会、(一社)苫小牧観光協会、長沼町観光協会、(一社)由仁町観光協会、(一社)あびら観光協会、札幌国際大学、札幌大谷大学、千歳科学技術大学、千歳商工会議所、支笏湖温泉旅館組合、日本航空、全日本空輸、JTB国内旅行企画、JTB北海道、千歳地区ハイヤー事業協同組合、アミューズメント北海道、千歳観光連盟会員企業、海外旅行会社他

(表：実施体制)



(表：KPI(実績・目標))※( )内は外国人に関するもの

|           | 27年度                 | 28年度                 | 29年度                 | 30年度                 | 31年度                 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 旅行消費額(円)  | 12,571<br>(61,341)   | 17,006<br>(未実施)      | 17,500<br>(62,500)   | 18,000<br>(63,000)   | 18,500<br>(63,500)   |
| 延べ宿泊者数(人) | 557,200<br>(138,052) | 546,000<br>(169,514) | 573,300<br>(177,990) | 601,965<br>(186,889) | 632,063<br>(196,234) |
| 来訪者満足度(%) | 73.3<br>(89.2)       | 77.4<br>(未実施)        | 78.0<br>(90.5)       | 78.5<br>(91)         | 79.0<br>(91.5)       |
| リピーター率(%) | 74.8<br>(62.7)       | 64.7<br>(未実施)        | 65.0<br>(63.5)       | 65.5<br>(64)         | 66.0<br>(64.5)       |

### 宣伝誘致に関する取組

○地域関連事業者と連携し国内外セールスプロモーションを展開すると共に、ワンストップ窓口としてセールス代行業務を実施する。  
○WEBサイトや観光パンフレット等の情報発信ツールを、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語の多言語対応を実施する。

### 受入環境整備に関する取組

○JNTO認定外国人観光案内所機能及びTIC東京との連携を活用した旅行者への情報発信・受入のワンストップ窓口を担う。  
○MICE関連ツアー、FIT旅行、一般団体ツアー等、空港到着時に旅行者を歓迎幕等でお出迎えする北海道ウェルカムサポートを実施する。



### 旅行業に関する取組

○第2種旅行業を活用し、コンセプトに基づいた着地型旅行商品の企画造成・販売を実施する。  
○地域関連事業者と連携しインバウンド旅行誘致に向けたランドオペレート業務を担う。  
○国内海外FIT旅行者向け特典クーポンブック(仮称:道南ゴールドクーポン)の企画発行を実施する。

### 物販業に関する取組

○地域製品の販促に向けたアンテナショップの運営、WEB通販サイトの運用等を図る。  
○地域製品の海外向け販路拡大の取り組みとして、インバウンド旅行者向けWEB通販サイト運営、お土産宅配サービスを実施する。